



## 2020年10月期 第2四半期 決算説明会資料

---

2020年 6月 24日  
株式会社エイチ・アイ・エス  
東証1部:9603

# 1. 決算概要

---

## 連結業績

(百万円)	FY19 2Q	FY20 2Q予想 (6/19)修正	FY20 2Q	YoY	前期差	主な増減要因
売上高	377,839	344,300	344,353	91.1%	▲33,485	旅行 ▲37,241, エネルギー +4,725, 九州産交グループ +1,238
売上総利益	69,488	-	56,800	81.7%	▲12,688	
営業利益	8,979	▲1,470	▲1,469	-	▲10,449	旅行 ▲7,878, HTBグループ ▲3,186, ホテル▲962 エネルギー +569, その他 +624
EBITDA	13,372	-	5,215	39.0%	▲8,156	
営業外収益	1,810	-	1,853	102.4%	43	
営業外費用	1,915	-	1,144	59.7%	▲771	前期) 為替差損 ▲241
経常利益	8,874	▲760	▲760	-	▲9,634	
特別利益	513	-	965	188.0%	451	投資有価証券売却益 965
特別損失	-	-	4,051	-	4,051	減損 2,865 (グリーンワールドホテル 1,733, 九州産交 1,132) 臨時休業による損失 1,185
税引前利益	9,387	-	▲3,846	-	▲13,234	
法人税等	3,350	-	543	16.2%	▲2,806	
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,072	-	▲930	-	▲2,003	グリーンワールドホテル ▲1,028, ハウステンボス ▲588
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,964	▲3,460	▲3,459	-	▲8,423	

## セグメント業績

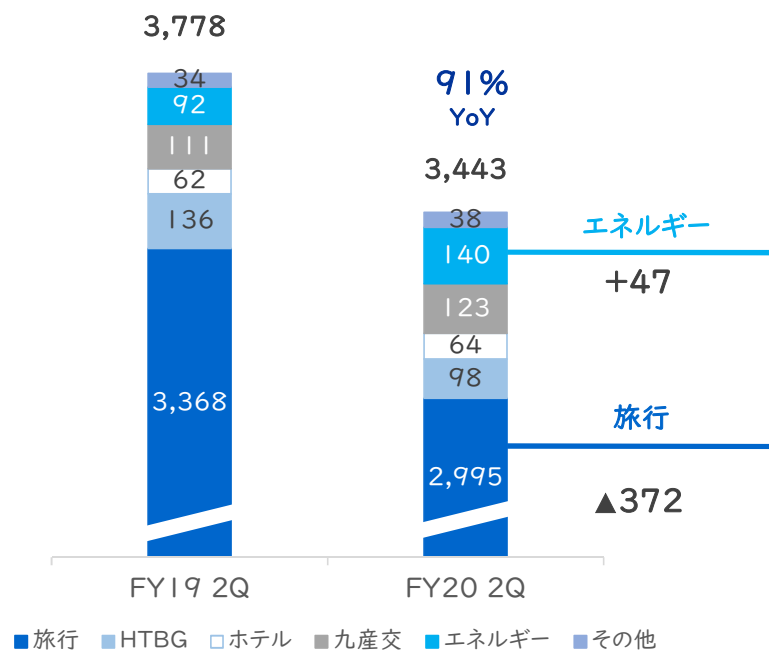
(百万円)	セグメント	FY19 2Q	FY20 2Q	YoY	前期差
売上高	旅行事業	336,831	299,589	88.9%	▲37,241
	ハウステンボスグループ	13,689	9,848	71.9%	▲3,841
	ホテル事業	6,205	6,470	104.3%	264
	九州産交グループ	11,155	12,394	111.1%	1,238
	エネルギー事業	9,281	14,006	150.9%	4,725
	その他	3,433	3,874	112.8%	440
	調整・消去等	▲2,757	▲1,830	-	926
営業利益	旅行事業	6,201	▲1,676	-	▲7,878
	ハウステンボスグループ	2,680	▲505	-	▲3,186
	ホテル事業	467	▲494	-	▲962
	九州産交グループ	297	198	66.5%	▲99
	エネルギー事業	363	933	256.8%	569
	その他	226	851	375.3%	624
	調整・消去等	▲1,259	▲776	-	483
EBITDA	旅行事業	8,045	919	11.4%	▲7,126
	ハウステンボスグループ	3,724	428	11.5%	▲3,296
	ホテル事業	1,044	1,244	119.2%	200
	九州産交グループ	750	1,170	156.1%	420
	エネルギー事業	399	976	244.5%	577
	その他	468	1,057	225.4%	588
	調整・消去等	▲1,060	▲580	-	479

## 売上高・営業利益

- 売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による各種の需要減少に伴い、**334億円の減収** (YoY **91%**)。
- 営業利益は、エネルギー事業が大きく伸長したものの、主要レジャー事業の経営環境悪化により、**14億円の営業損失** (104億円の減益)。

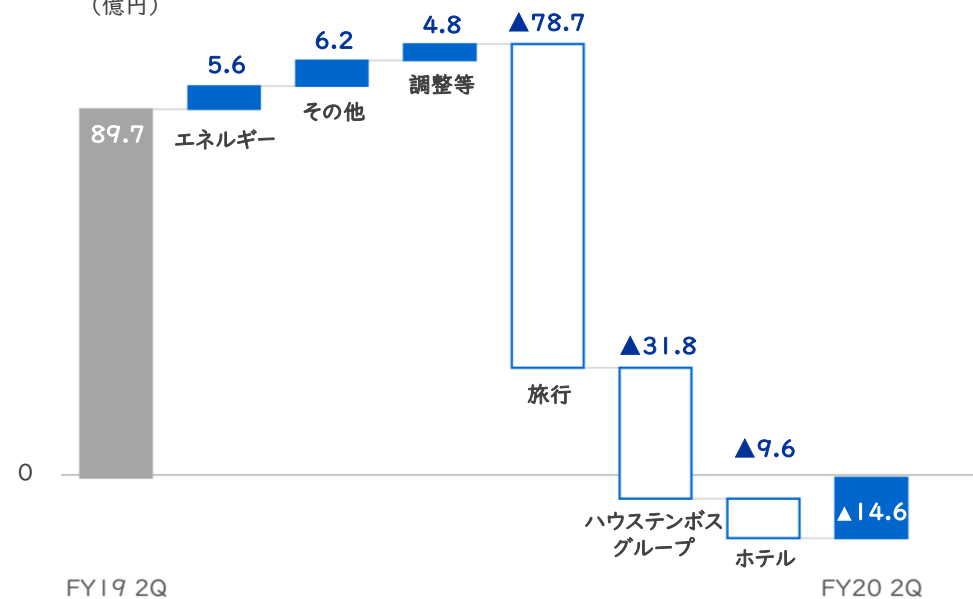
### 売上高の主な増減

(億円)



### 営業利益の主な増減

(億円)

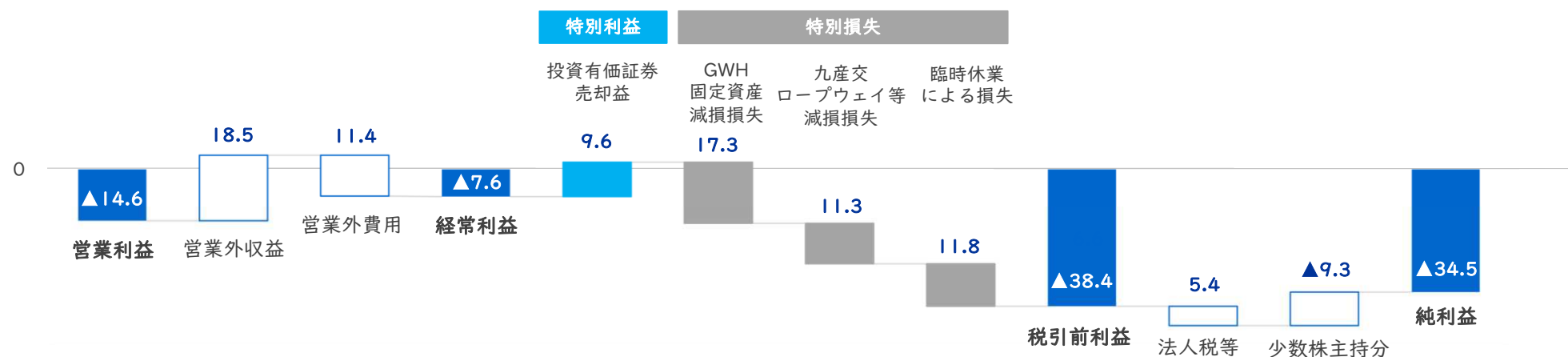


## 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

- 経常利益は、営業外費用の改善による営業損失のマイナス幅を圧縮し、**7億円の経常損失**（96億円の減益）。
- 投資有価証券売却による**特別利益9億円**を計上した一方、**特別損失40億円**を計上し、四半期純利益は**34億円の四半期純損失**（84億円の減益）。

### 純利益までの主な増減要因

(億円)



## セグメントP/L 四半期

(百万円)		FY19					FY20						
		1Q	2Q	IH	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	IH	3Q	4Q	Total
旅行	売上高	166,617	170,213	336,831	175,444	210,188	722,464	175,320	124,269	299,589	-	-	-
	YoY	114.3%	107.8%	110.9%	116.1%	107.0%	110.9%	105.2%	73.0%	88.9%	-	-	-
	営業利益	4,071	2,130	6,201	1,965	5,587	13,754	2,370	▲4,046	▲1,676	-	-	-
	YoY	205.7%	94.9%	146.8%	203.0%	79.7%	112.7%	58.2%	-	-	-	-	-
	EBITDA	4,996	3,048	8,045	3,094	6,841	17,980	3,658	▲2,739	919	-	-	-
	YoY	175.2%	93.4%	131.5%	165.5%	86.0%	112.8%	73.2%	-	11.4%	-	-	-
ハウステンボス グループ	売上高	7,415	6,273	13,689	6,503	7,893	28,086	6,447	3,400	9,848	-	-	-
	YoY	96.9%	84.7%	90.9%	97.7%	88.1%	91.5%	86.9%	54.2%	71.9%	-	-	-
	営業利益	1,771	909	2,680	1,037	1,358	5,075	644	▲1,150	▲505	-	-	-
	YoY	89.7%	50.0%	70.6%	85.7%	58.8%	69.4%	36.4%	-	-	-	-	-
	EBITDA	2,289	1,435	3,724	1,561	1,889	7,175	1,166	▲737	428	-	-	-
	YoY	93.5%	62.2%	78.3%	88.2%	66.3%	76.5%	50.9%	-	11.5%	-	-	-
ホテル	売上高	3,087	3,117	6,205	3,222	3,248	12,676	3,811	2,658	6,470	-	-	-
	YoY	98.6%	100.3%	99.4%	110.5%	112.7%	105.3%	123.4%	85.3%	104.3%	-	-	-
	営業利益	257	210	467	▲409	▲275	▲217	311	▲805	▲494	-	-	-
	YoY	65.2%	66.0%	65.6%	-	-	-	121.0%	-	-	-	-	-
	EBITDA	520	523	1,044	151	▲136	1,059	731	512	1,244	-	-	-
	YoY	71.1%	80.0%	75.3%	33.1%	-	50.0%	140.6%	97.9%	119.2%	-	-	-

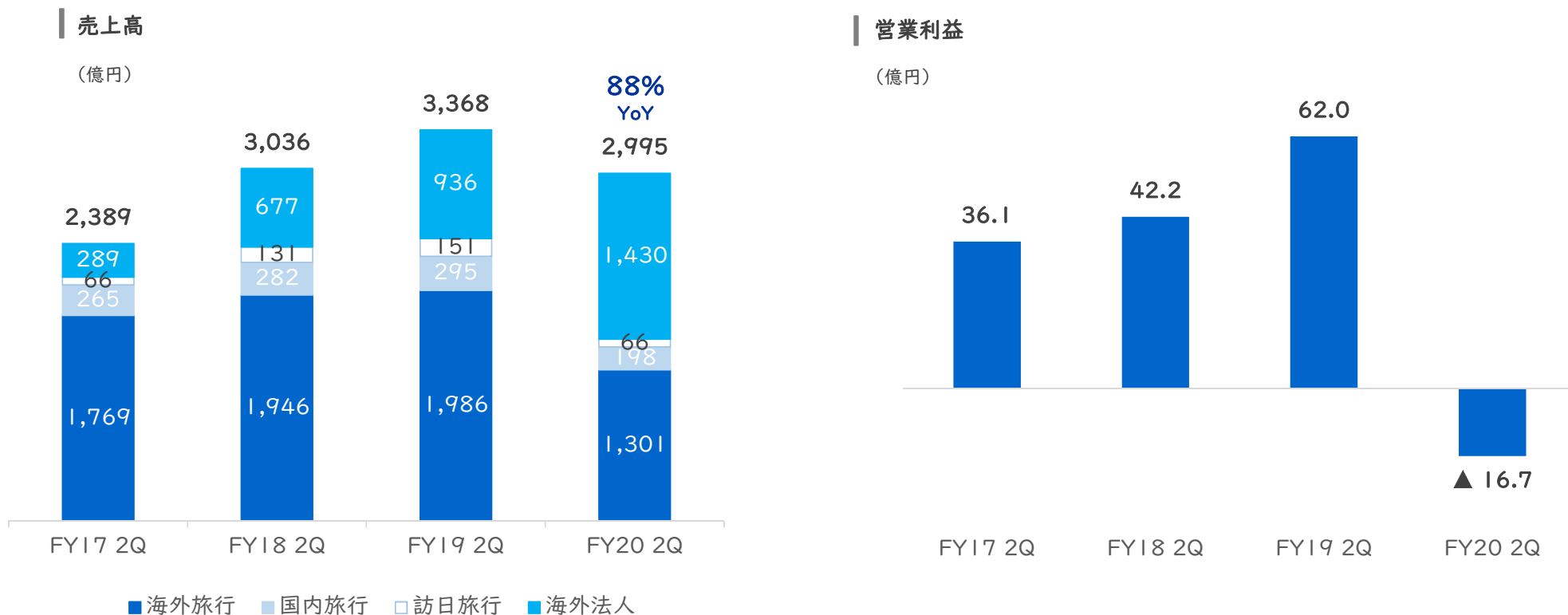
## セグメントP/L 四半期

(百万円)		FY19					FY20						
		1Q	2Q	1H	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	1H	3Q	4Q	Total
九州産交 グループ	売上高	5,882	5,273	11,155	5,247	5,827	22,230	6,934	5,460	12,394	-	-	-
	YoY	102.5%	103.3%	102.9%	99.4%	105.6%	102.7%	117.9%	103.5%	111.1%	-	-	-
	営業利益	183	114	297	▲58	▲81	158	316	▲118	198	-	-	-
	YoY	78.0%	100.0%	85.2%	-	-	39.7%	172.6%	-	66.5%	-	-	-
	EBITDA	405	344	750	182	270	1,203	801	369	1,170	-	-	-
	YoY	89.0%	98.6%	93.2%	80.7%	74.3%	86.2%	197.5%	107.2%	156.1%	-	-	-
エネルギー	売上高	4,014	5,266	9,281	4,606	6,574	20,461	6,291	7,715	14,006	-	-	-
	YoY	176.1%	181.0%	178.8%	167.4%	162.4%	170.7%	156.7%	146.5%	150.9%	-	-	-
	営業利益	118	244	363	131	479	974	268	665	933	-	-	-
	YoY	-	-	-	130.6%	-	-	225.9%	271.8%	256.8%	-	-	-
	EBITDA	135	264	399	151	499	1,050	289	687	976	-	-	-
	YoY	-	-	-	107.7%	-	-	214.2%	259.9%	244.5%	-	-	-
その他	売上高	1,556	1,877	3,433	2,479	2,463	8,376	2,058	1,816	3,874	-	-	-
	YoY	-	-	-	--	-	-	132.3%	96.7%	112.8%	-	-	-
	営業利益	101	125	226	221	140	590	402	448	851	-	-	-
	YoY	-	-	-	-	-	-	395.6%	358.7%	375.3%	-	-	-
	EBITDA	223	245	468	344	264	1,077	489	567	1,057	-	-	-
	YoY	-	-	-	-	-	-	218.9%	231.3%	225.4%	-	-	-



## 旅行事業

「Red Label」の新規連結寄与があったものの、1月下旬より新型コロナウイルス感染症の影響が出始め、各国の渡航制限等の措置が強化されたことにより大幅に需要が減少し、売上高は372億円の減収 (YoY **88%**)。収益面においては、コスト削減等の対策を施しましたが、**営業損失16億円** (78億円の減益)。



## 旅行事業 サブセグメントP/L 四半期

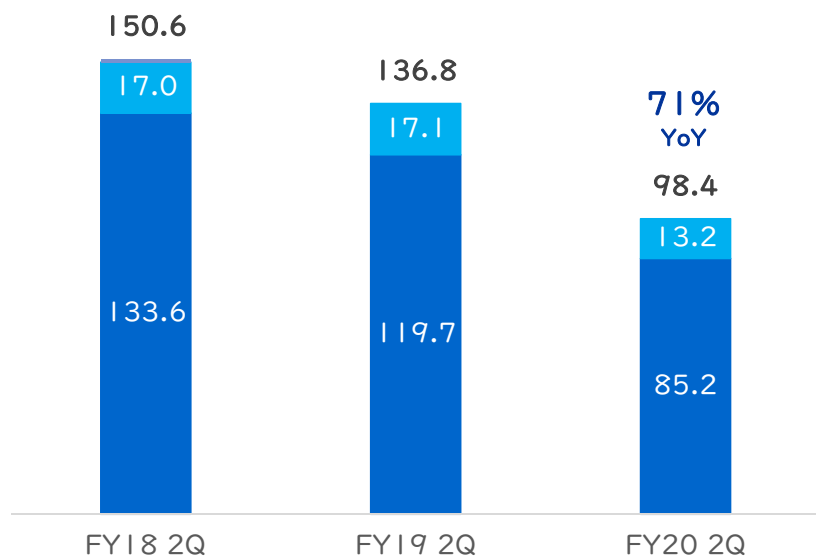
(百万円)	FY19						FY20					
	1Q	2Q	1H	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	1H	3Q	4Q	Total
旅行事業 売上高 計	166,617	170,213	336,831	175,444	210,188	722,464	175,320	124,269	299,589	-	-	-
YoY	114.3%	107.8%	110.9%	116.1%	107.0%	110.9%	105.2%	73.0%	88.9%	-	-	-
海外旅行取扱高	87,899	110,754	198,654	86,748	116,545	401,948	87,440	42,722	130,163	-	-	-
YoY	106.7%	114.5%	110.9%	98.9%	97.0%	103.8%	99.5%	38.6%	65.5%	-	-	-
内、燃油サーチャージ	6,030	8,005	14,036	4,308	6,957	25,302	4,837	2,477	7,314	-	-	-
国内旅行取扱高	11,941	17,576	29,517	13,693	18,044	61,255	11,668	8,163	19,831	-	-	-
YoY	101.4%	106.9%	104.6%	99.3%	99.0%	101.7%	97.7%	46.4%	67.2%	-	-	-
訪日旅行取扱高	7,116	8,075	15,192	8,375	6,430	29,997	5,849	7,532	6,603	-	-	-
YoY	119.5%	105.6%	111.8%	88.7%	77.8%	96.0%	82.2%	9.3%	43.5%	-	-	-
海外法人インバウンド取扱高	56,070	35,339	91,409	41,186	50,748	183,343	55,039	38,157	93,196	-	-	-
YoY	127.1%	106.7%	118.4%	107.3%	98.1%	109.6%	98.2%	107.9%	101.9%	-	-	-
海外法人アウトバウンド取扱高	19,719	20,213	39,933	40,124	40,242	120,298	41,865	50,606	92,471	-	-	-
YoY	104.3%	100.0%	102.1%	188.8%	205.0%	150.4%	212.3%	250.3%	231.6%	-	-	-
内部取引相殺消去、調整等	▲16,128	▲21,744	▲37,874	▲14,682	▲21,821	▲74,377	▲27,016	▲22,911	▲42,675	-	-	-

## ハウステンボスグループ

- ハウステンボスの入場者減少により、売上高は**38億円の減収 (YoY 71%)**。収益面においては、31億円の減益となり、**営業損失5億円**。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休園(2月29日~3月15日)に加え、その後の需要の冷え込みにより、入場者数は**YoY 79.8%の104万人**に。

### 売上高

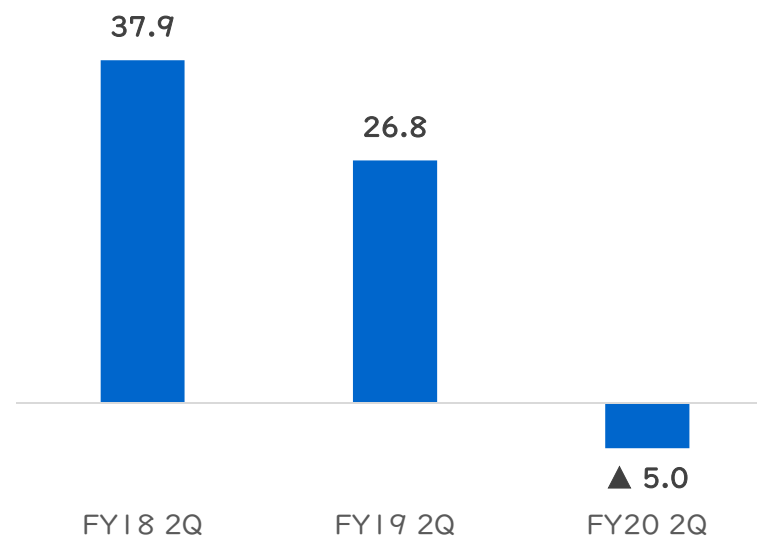
(億円)



■ ハウステンボス ■ ラグーナテンボス他

### 営業利益

(億円)



※セグメント変更につき3期分となります。

©2020 H.I.S. Co., Ltd. IR Div.

## ハウステンボス単独 P/L 四半期

(百万円)	FY19						FY20					
	1Q	2Q	IH	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	IH	3Q	4Q	Total
取扱高 (連結調整前)	7,079	5,968	13,047	6,133	6,406	25,586	6,116	3,168	9,284	-	-	-
YoY	96.1%	83.2%	89.8%	96.7%	85.2%	90.1%	86.4%	53.0%	71.2%	-	-	-
営業利益	1,894	1,277	3,171	1,112	1,012	5,295	852	▲692	160	-	-	-
YoY	92.4%	61.9%	77.1%	86.5%	56.9%	73.8%	45.0%	-	5.1%	-	-	-
入場者数 (万人)	70.8	59.6	130.4	60.4	63.7	254.7	68.8	35.2	104.0	-	-	-
YoY	97.2%	89.4%	93.5%	97.0%	90.7%	93.6%	97.2%	59.0%	79.8%	-	-	-
内、海外客数 (万人)	3.5	4.2	7.7	4.5	4.0	16.3	3.0	2.0	5.0	-	-	-
YoY	82.1%	89.3%	86.0%	89.9%	93.3%	88.7%	86.7%	47.6%	64.5%	-	-	-
宿泊客数 (万人)	7.3	7.0	14.3	6.3	7.7	28.4	6.6	3.8	10.4	-	-	-
YoY	96.1%	85.3%	90.3%	96.9%	97.5%	94.0%	90.7%	54.2%	72.6%	-	-	-
単価 (円：10円単位切捨て)	9,900	10,000	10,000	10,100	10,000	10,000	8,800	9,000	8,900	-	-	-
増減	-100	-770	-400	±0	-600	-400	-1,100	-1,000	-1,100	-	-	-

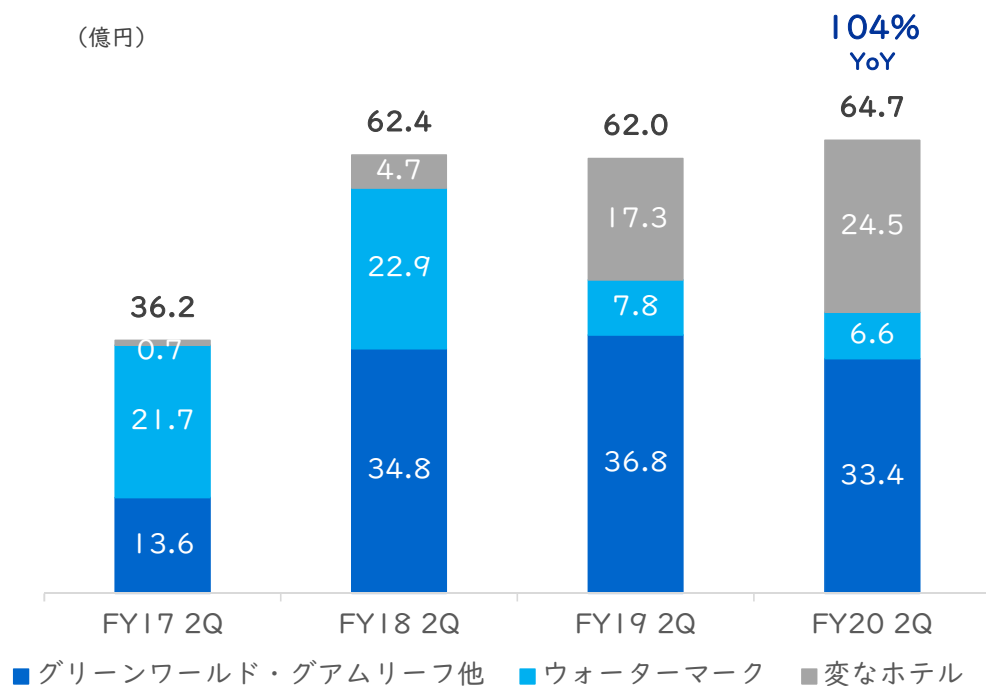
## ホテル事業

売上高は、グアムリーフホテルが好調に推移したことに加え、「変なホテル」の新規開業効果もあり、**2億円の増収** (YoY 104%)。

営業利益は、国内外のホテルにおいて、1月下旬から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、宿泊予約が減少し、**4億円の営業損失** (9億円の減益)。

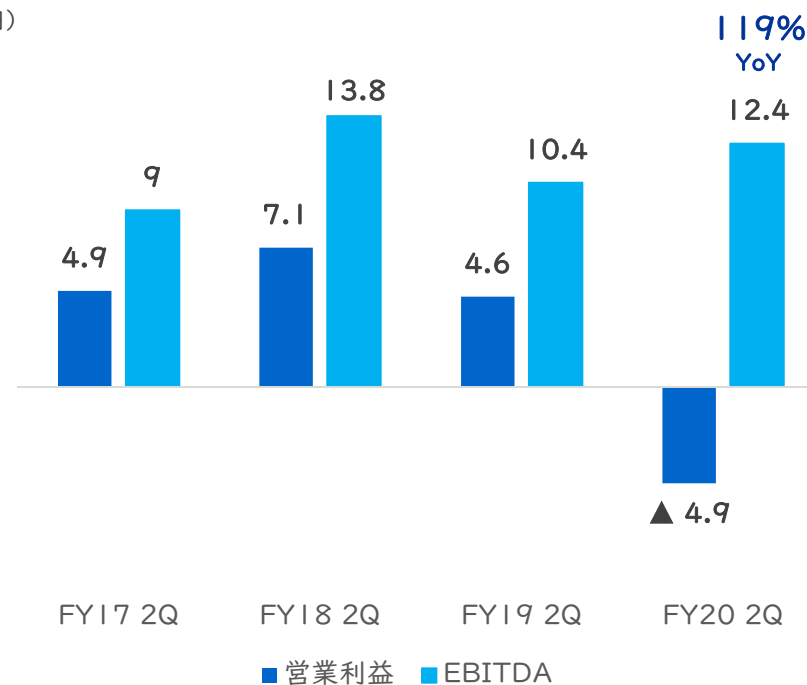
### 売上高

(億円)



### 営業利益・EBITDA

(億円)



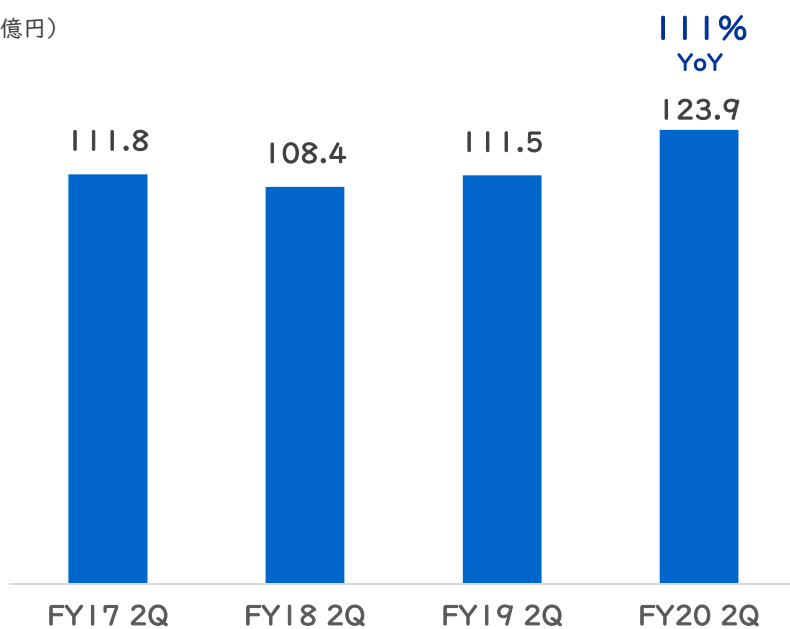
## 九州産交グループ

■ 大型商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」の開業に伴う不動産賃貸業や海上輸送業が堅調に推移し、売上高は**12億円の増収**(YoY 111%)。

■ 営業利益は、旅行事業やバス事業等において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、**0.9億円の減益**(YoY 66%)。

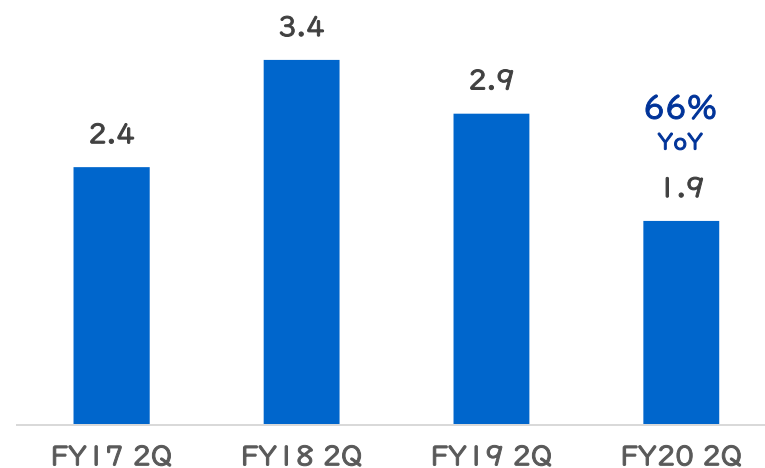
### 売上高

(億円)



### 営業利益

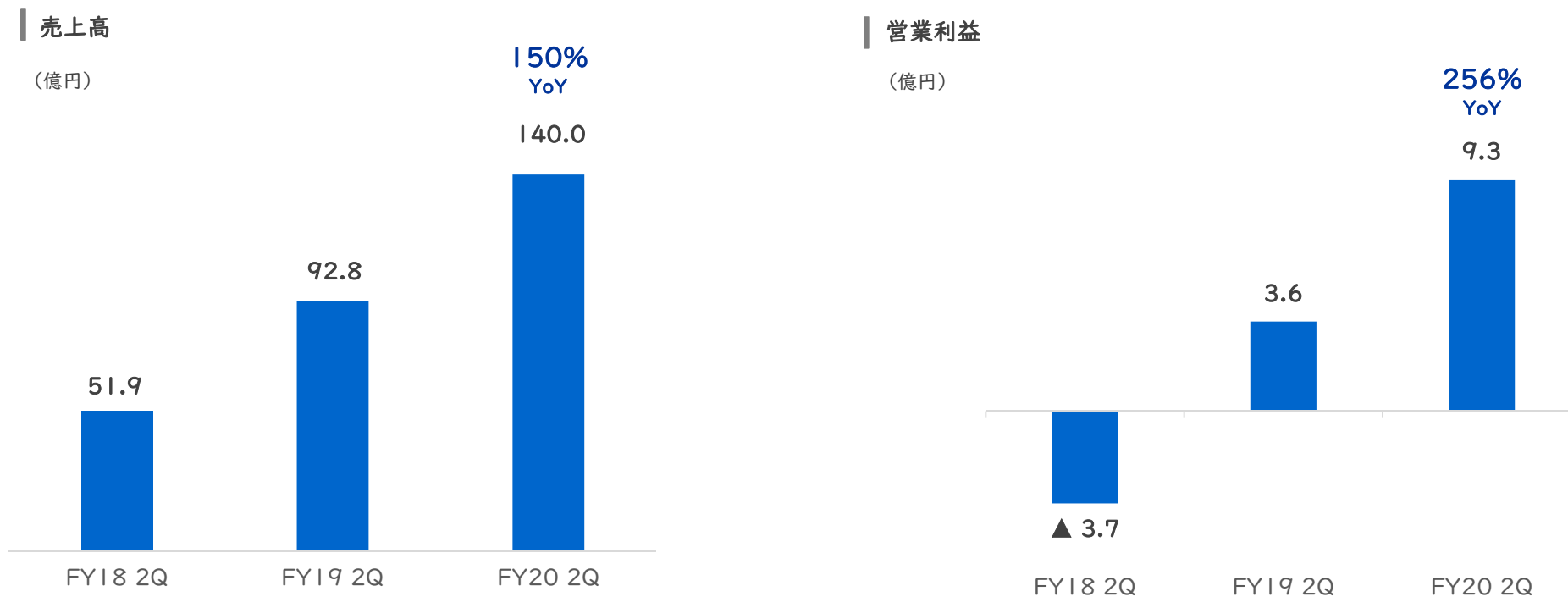
(億円)



## エネルギー事業

■ 売上高は、代理店の拡販とアライアンスの推進に加え、WEB広告の強化による契約数の増加が寄与し、**47億円の増収 (YoY 150%)**。

■ 営業利益は、引き続き安定した調達環境のもと大幅な増収が伴い、**5億円の増益 (YoY 256%)**。



※セグメント新設につき3期分となります。

## 連結B/S 前期末比

(百万円)

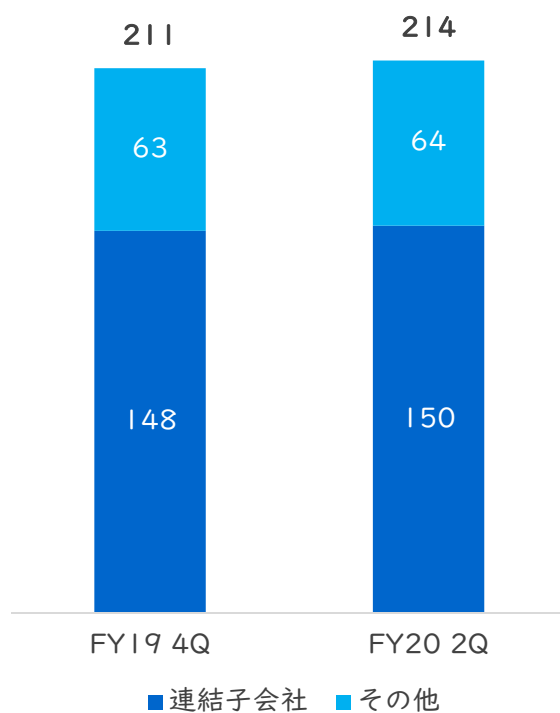
	FY19 4Q	FY20 2Q	増減
現金及び預金	219,175	124,320	▲94,854
受取手形及び売掛金	45,653	28,262	▲17,390
営業未収入金	4,287	2,694	▲1,592
旅行前払金	52,102	35,976	▲16,126
その他	27,061	16,581	▲10,480
<b>流動資産計</b>	<b>348,280</b>	<b>207,835</b>	<b>▲140,444</b>
有形固定資産	147,098	201,873	54,775
無形固定資産	19,271	18,652	▲618
のれん	7,305	5,817	▲1,487
投資その他資産	55,275	53,753	▲1,522
<b>固定資産計</b>	<b>228,951</b>	<b>280,097</b>	<b>51,145</b>
繰延資産計	168	156	▲11
<b>資産合計</b>	<b>577,399</b>	<b>488,089</b>	<b>▲89,309</b>

	FY19 4Q	FY20 2Q	増減
営業未払金	38,082	20,638	▲17,443
旅行前受金	92,760	44,102	▲48,658
社債・転換社債	55,090	55,081	▲8
長期借入金	183,951	169,851	▲14,100
その他	83,605	80,782	▲2,822
<b>負債計</b>	<b>453,490</b>	<b>370,457</b>	<b>▲83,032</b>
資本金	11,000	11,000	-
資本剰余金	3,392	3,417	24
利益剰余金	112,409	106,447	▲5,962
自己株式	▲28,309	▲28,065	243
その他の包括利益累計額	▲1,719	▲2,678	▲958
新株予約権・非支配株主持分	27,135	27,511	375
<b>純資産計</b>	<b>123,909</b>	<b>117,632</b>	<b>▲6,276</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>577,399</b>	<b>488,089</b>	<b>▲89,309</b>

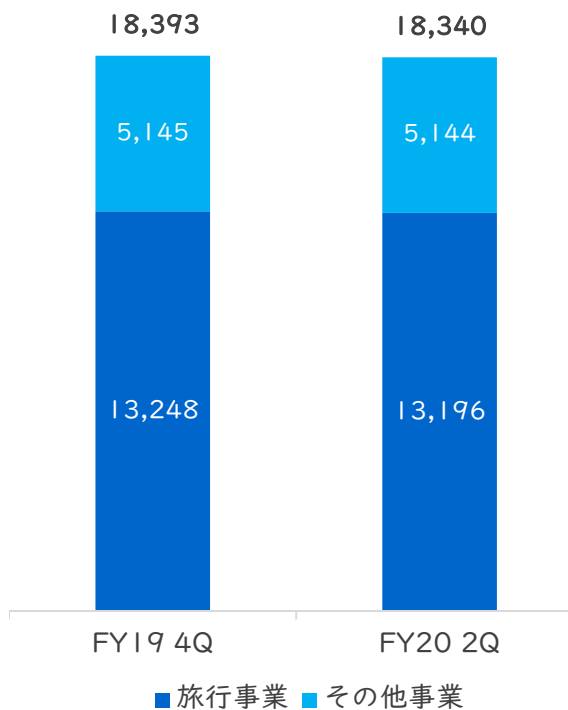


## [参考データ] 対前期末比

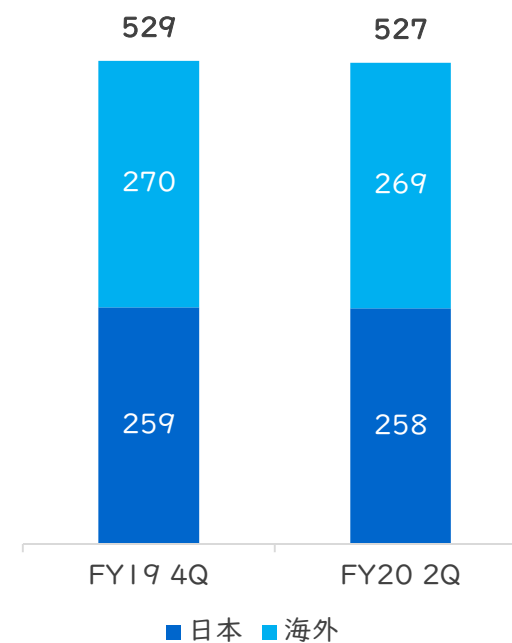
グループ会社数



従業員数



営業拠点数



## 2. 今後の経営方針

---

## 連結業績予想

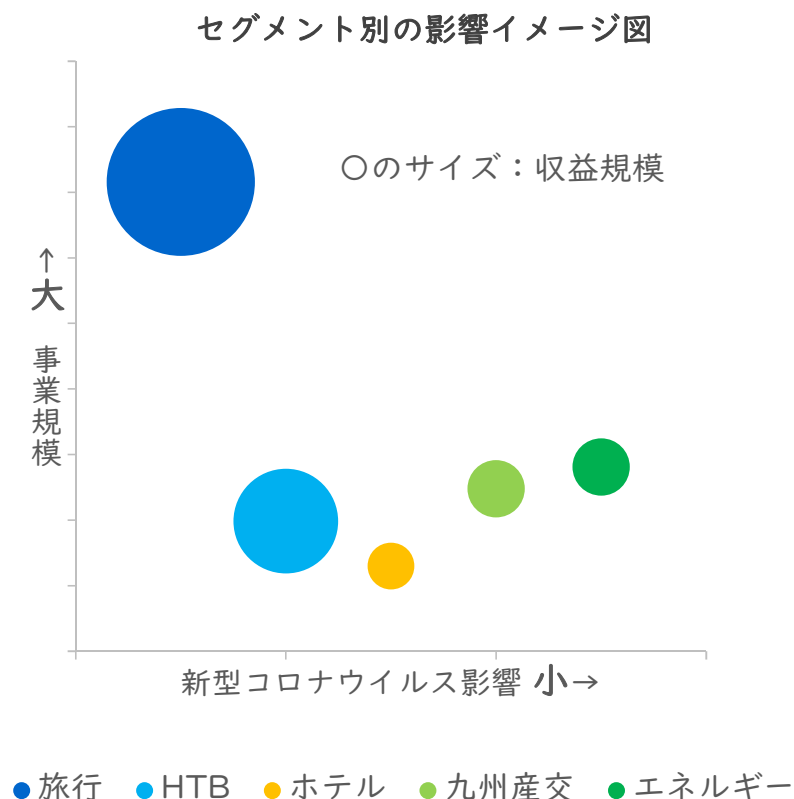
- 新型コロナウイルス感染症の終息時期が不明な現時点では、業績見通しを合理的に算定することが困難。2020年10月期の連結業績予想については、未定とさせていただきます。

(百万円)	FY19	FY20 前回公表 (3/2)	今回予想
売上高	808,510	775,000	未定
営業利益	17,540	1,700	
EBITDA	27,263	13,330	
経常利益	17,089	2,800	
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,249	▲1,100	
1株当たり 当期純利益	213.63円	▲19.16円	
配当	33円	33円	

諸前提が定められる  
状況になった段階で  
速やかに業績予想を  
開示いたします。

# 新型コロナウイルスの影響

## 事業セグメント別の影響



旅行	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各国間の渡航制限や国内移動制限等もあり旅行市場への影響は甚大。
ハウステンボスグループ	屋外施設の利用に限定し、県内需要が中心の営業となり影響は大きい。
ホテル	国内外の宿泊需要の低迷を受け影響は大きい。開業計画に若干の遅れが発生。
九州産交グループ	バス利用者の減少および商業施設への来場者減少による影響あり。
エネルギー	電力小売事業は好調に推移し引き続き事業を拡大。発電所建設に遅れが発生。

# 当社グループの対応策

## ■ コロナ禍における対応

### 経営面の対応策

<p>コスト削減の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定費の削減 役員報酬、人件費</li> <li>・ 変動費の削減 広告費の抑制 賃借料の減額交渉等</li> </ul>
<p>手元流動性の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各国における行政施策の活用 雇用調整助成金等</li> <li>・ 借入金による資金調達</li> <li>・ コミットメントライン設定</li> </ul>

### 感染拡大防止の対応策

<p>従業員勤務体制</p>	<p>感染リスクを低減すべく、基本的に全社員を特別休業対応に。一部、業務が必要な従業員は、在宅でのテレワークを推進。</p>
<p>お客様向け対応</p>	<p>オンライン、コールセンターを主として非接触での接客を基本にしつつ、店頭ニーズに対応すべく、安全対策を施し主要都市の一部店舗（25拠点）にて営業を再開。</p>
<p>取引先等への対応</p>	<p>互いの移動負担・リスクを低減するため、直接対面は極力避け、WEB・電話会議での対応を中心に。</p>

※当面の財務方針として後述

## 当社グループの成長戦略

- ホールディングス化は一旦延期も、新本社へ移転し体制を強化。  
経営資源を成長領域へ投入し、より強固な事業ポートフォリオの構築を目指す。

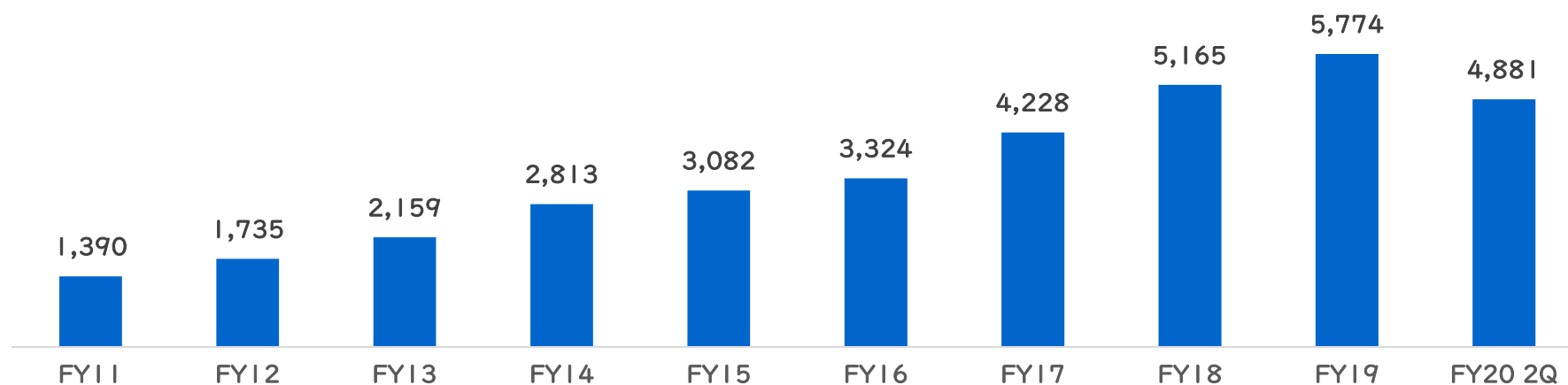


### 3. 当面の財務方針

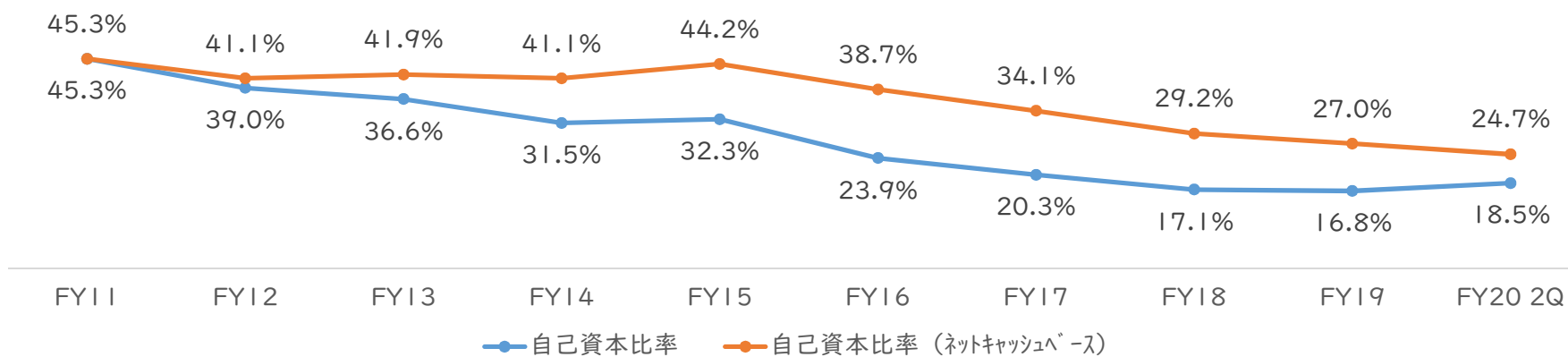
---

## 総資産・自己資本比率の10期推移

総資産  
(億円)



自己資本比率



©2020 H.I.S. Co., Ltd. IR Div.



## 年初からの資金見通しの変化 (HIS単体)

(億円)	当初見通し		修正後見通し
預金残高	900		900
新規資金調達	300		300
下期CF	380		▲240
新社屋購入	▲300		▲300
借入金返済	▲200		▲200
設備投資・経費	▲500		▲500
差引計	580		▲40

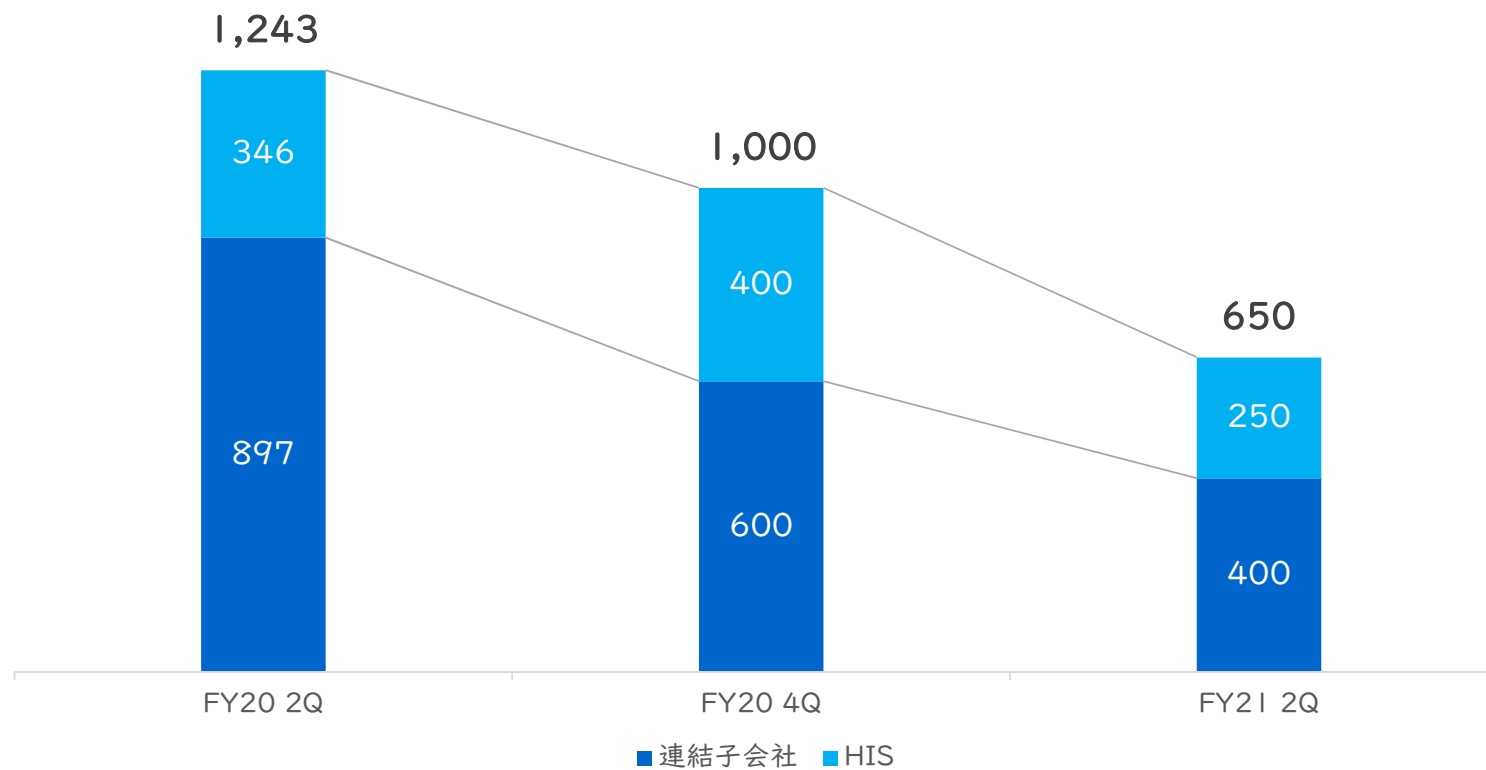
→

前受金の返金

## 当面の資金残高について

### 資金残高の見通し

(億円)



## 資金減少への対応策

### ① 経費削減

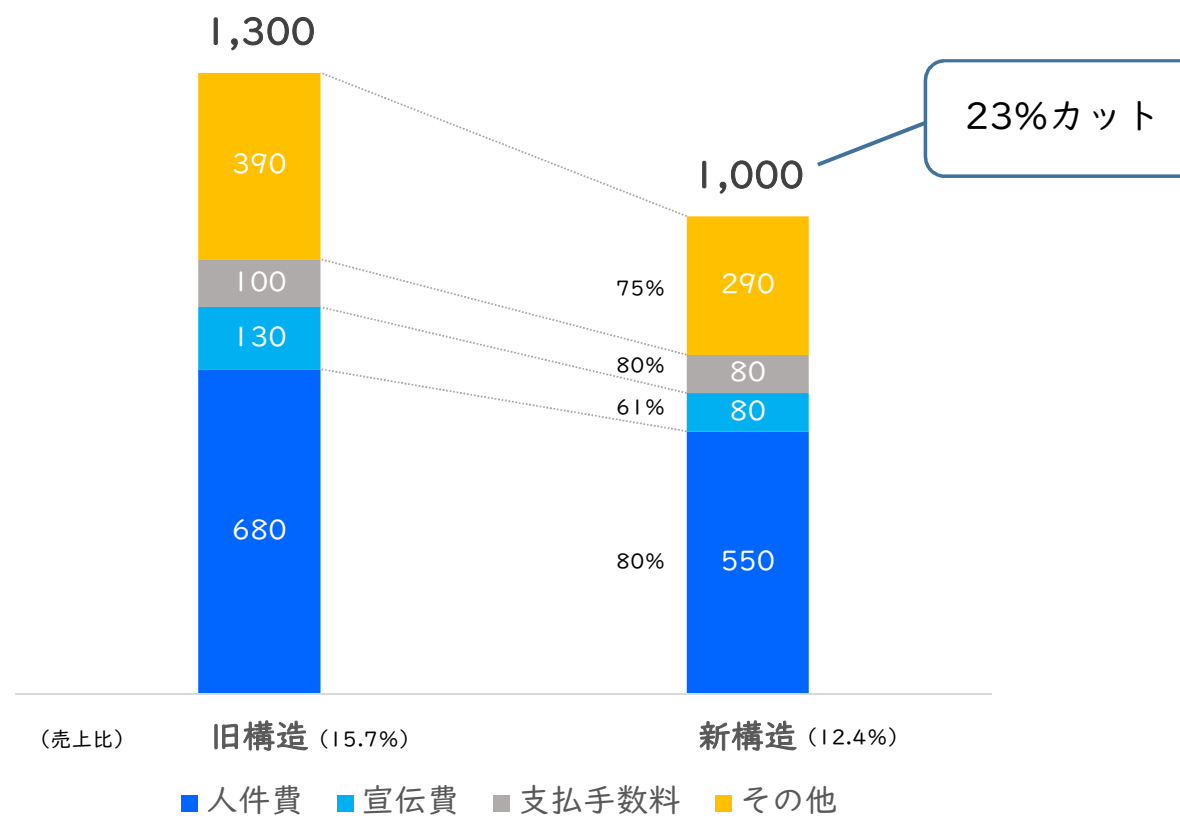
(億円)

	2020年上期	2020年下期(見通し)	通期見通し
	金額(前期比)	金額(前期比)	金額(前期比)
HIS	217 (▲65)	200 (▲60)	417 (▲125)
連結子会社	377 (54)	300 (▲60)	677 (▲6)
合計	594 (▲11)	500 (▲120)	1,094 (▲131)

年間1,300億円のコスト体質が1,100億円へ  
～来期以降は更に削減可能～

## コスト構造の変化

今後のコスト構造の見通し  
(億円)



## 資金減少への対応策（HIS単体）

### ② 設備投資の見直し（2020年3月～2020年10月）

（億円）

	当初案	変更後	
システム投資	34	20	コスト合理化
ホテル	123	97	キャンセル3件 15 繰延べ2件 11
不動産等	400	※350	キャンセル2件 50

※投資済み

### ③ 新規資金調達

メジャー銀行からのコミットメントライン

330億円

### 1. 自己資本の充実化

- ・ 利益確保による改善を最優先に
- ・ 自己資本比率20%への回帰を目指す

### 2. コスト削減、粗利率の向上により損益分岐点の引き下げの定着化

### 3. 配当方針

- ・ 下期の経営環境を見ながら配当分配可能額により判断（現時点では未定）
- ・ 早期に安定配当が可能な経営体質に戻す

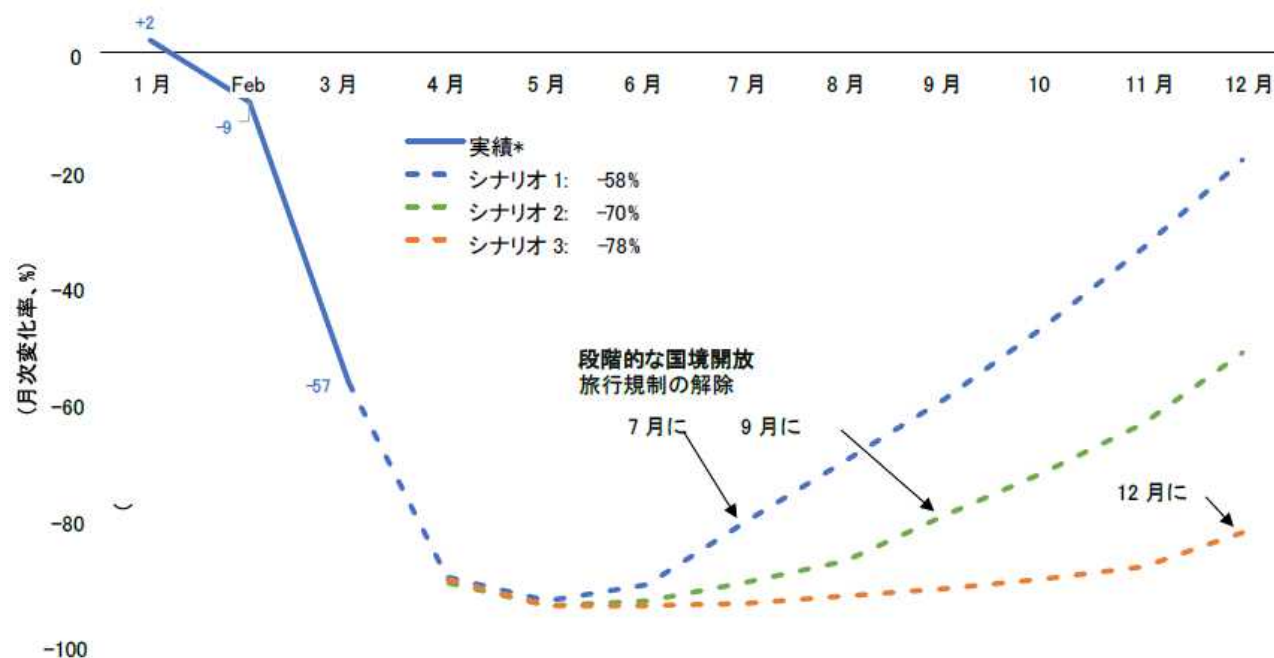
## 4. 旅行事業の取り組み

---

# 旅行事業の見通し

旅行市場の回復シナリオ 予測不可能も、ワクチン開発や感染症の縮小とともに中長期的に回復へ

[参考] 2020年の国際観光客到着数:3つのシナリオ(前年同月比、%)



出典：国連世界観光機関 (UNWTO)



## 日本における旅行事業

レジャー旅行需要の見通し 近隣国内旅行→遠方国内旅行→海外旅行・訪日旅行の順に回復すると想定

コロナ禍を乗り越え、次なる成長に向けたHIS JAPANの取り組み

### ① 当面の主軸を国内旅行へ

海外旅行に係わるリソースを国内旅行市場へ再配置し、社内体制を整備。

### ② 「GO TO キャンペーン」による需要の獲得

国内プロジェクトを発足させ、全国横断的に注力。

ハウステンボス・当社グループホテルの販促などグループシナジーを発揮。



旅で  
日本に  
元気を。



記念写真に写る私は、いつも笑顔だ。  
旅先で出会う人々は、いつも笑顔だ。

旅って、笑顔に出会うことだと思う。  
自分の笑顔に。  
みんなの笑顔に。

さ、旅へ出かけませんか。  
久しぶりに羽を伸ばして。

美しい風景を守っている人たちが、  
のんびりくつろげる温泉を支えている人たちが、  
おいしい料理をつくってくれる人たちが、  
あなたとの出会いを心待ちにしています。

あなたの笑顔を、日本津々浦々へ。

お客様の安心・安全のために対策を実施しています

## 日本における旅行事業

---

### ③ 国内旅行の売上1.5倍を目指す

国内商材の仕入れ強化、ダイナミックパッケージ化の促進。

### ④ 訪日旅行の体制を強化

将来的な日本の国策で6,000万人を目指す市場へ、本格的に受入れ体制を整備。

→ 過去実績の海外からの送客を含めた当社グループの訪日旅行取扱額約460億円から、更なる事業規模拡大を狙う。

### ⑤ デジタルトランスフォーメーションの促進

DX推進本部を設立し、スタッフ20名を配属。新たな旅行のビジネスモデルを構築。

# 日本における旅行事業

## 海外旅行需要の見通し

## 方面別の回復想定シナリオ

第1フェーズ：グアム・台湾・ベトナム  
第3フェーズ：ヨーロッパ・中近東

第2フェーズ：オセアニア・ハワイ・韓国・その他アジア  
第4フェーズ：アメリカ・中南米・アフリカ

### ① 海外旅行のリーディングカンパニーとして

JATA正会員に復帰し、政府観光局等への積極的な働きかけを行い、早期の需要回復を目指す。

### ② 安全・安心なサービスの提供

当社のグローバルネットワーク（海外269拠点）を生かし、各国の出入国等の最新情報を一覧サイトにて公開。

新型コロナウイルス感染防止対策を施した旅行スタイルの変化に合わせ、旅先における受け入れ体制の新基準を策定（第1段階は策定済み、第2段階へ）。

### ③ アフターコロナへの準備

危機をチャンスに変え、反転速攻の準備。海外旅行取扱シェアの更なる拡大を目指す。

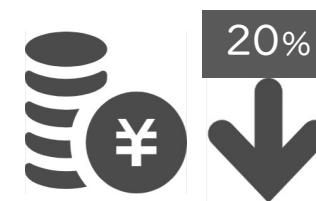
→ 回復局面に向けた商品造成 例) 出発2日前まで取消料不要のグアムツアーなど

## 海外における旅行事業

アフターコロナへ 【回復局面への準備を徹底】

### ◆ 人件費を含めた固定費の圧縮を実施

削減目標 SGA 20%減

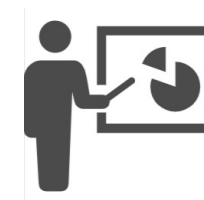


### ◆ 旅行形態のニューノーマルに対応したインバウンド受け入れ新基準の策定

日本と連携した新型コロナウイルス感染防止対策

### ◆ 様々な領域で活躍できる人材育成

WEBセミナーによる教育、デジタル化の促進



# 海外における旅行事業

## 旅行事業における新たなマーケティング 【新需要の創出】

### ◆ オンライン体験ツアー HIS USA

大好評：うちで過ごそうキャンペーン。

【#ふたたび美しい世界へ】今だから楽しめる、現地直送オプションツアー

需要回復期へ向けた顧客とのエンゲージメント確保

マーケットリーダーとしてのブランディング

旅行商品でのサブスクリプションモデルを試験導入

成功モデルの全世界への横展開



お気に入りに追加する

比較する

定額プラン対象

【ペルー時間6月26日】行った気になる観光セミナー～天空の遺跡マチュピチュ～

★★★★★ クチコミ (49)

\$10

商材の一例

# 海外における旅行事業

## 旅行業以外への新たなチャレンジ 【新収益モデルの確立】

◆ 物販、ECサイト事業



◆ 人材派遣事業



◆ 海外リモート出張代行 [レンタルHIS]

◆ フードビジネス



◆ 新規事業を確立するための周辺領域への種まき

@シリコンバレー

お客様



代行依頼

見積もり・納品



- ・現地調査レポートやライブ中継
- ・商品の拡販
- ・オンライン商談アレンジ
- ・現地取引先候補のリストアップ  
など…他にも多数

レンタルHISイメージ

## 5. 各事業セグメントの取り組み

---



# ハウステンボスグループ

## テーマパークの営業状況（6/24時点）

### ハウステンボス

- ・ 5/16～6/18まで  
長崎県在住のお客様限定で営業
- ・ 6/19～6/30  
長崎県限定を解除し、営業施設を拡大して営業
- ・ 各ホテルも順次営業を再開します  
6/19～ ホテルアムステルダム  
7/1～ ホテルヨーロッパ、フォレストヴィラ  
変なホテル

### ラグーナテンボス

- ・ 時間短縮営業  
テーマパーク「ラグナシア」  
6/27～通常営業  
ショッピングモール「フェスティバルマーケット」  
7/1～通常営業
- ・ 通常営業  
変なホテル  
タラソテラピー施設  
天然温泉ラグーナの湯

### <お客様に安心して園内を楽しんで頂くための感染予防策>



# ハウステンボスグループ

## マイクロツーリズム（近隣への旅行）の推進・・・年間パスポート会員獲得の強化

### 【地域重点】

長崎・佐賀・福岡

### 【重点ターゲット】

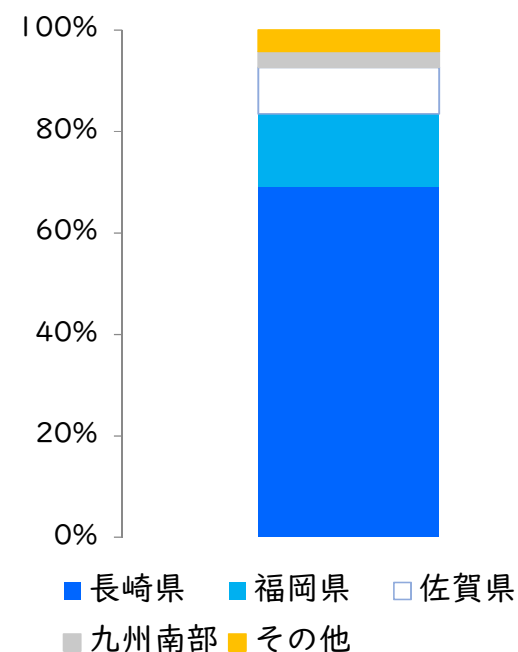
①学生 ②シニア ③ファミリー

### 【具体的な施策】

①会員様特典の拡充 ②優待キャンペーン

6月2日(火)から長崎県&佐世保市の助成金を活用した  
宿泊キャンペーンの予約をスタート。  
→ 好評につき第1弾、第2弾とも完売に

年間パスポート会員構成比



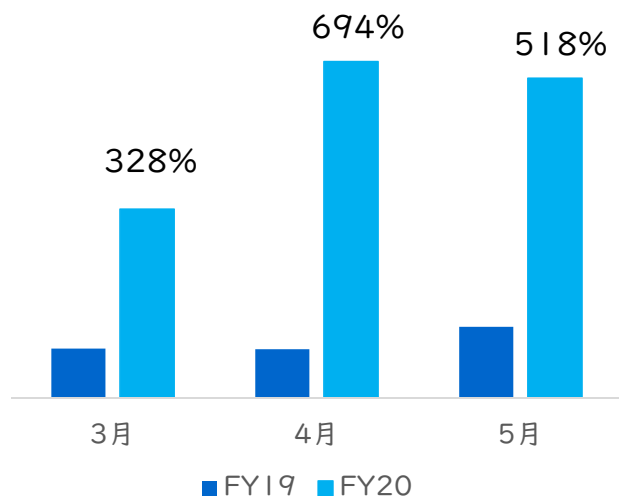
# ハウステンボスグループ

## コロナ禍において来園が頻繁にできないお客様に・・・ECの強化

「食」を絡めた長崎県産の魅力ある食材をはじめ

最終的には九州の各県・各地域が連携し、一体となって九州ブランドを広めていく。

EC販売の売上前年比



ハウステンボス通販～ショッピングの城～ 会員特典!

お買い物をすればするほどお得なポイントサービス開始!!

たまる 使える

お買上金額 100円毎で1ポイント進呈!!

1ポイント=1円で お買い物に使える!!

詳しくはこちら! >

3,980円以上のご購入で

送料無料!!

FREE

賞味期限間近商品

賞味期限が近い商品を いつもよりお得な価格で

※ラインナップは随時変動致します

長崎県 企業サポート

地元長崎県の企業を応援

# ハウステンボスグループ

花と光の感動リゾートを進化・・・広大な敷地を活かして1年中楽しめるイベントを展開



チューリップといえば  
ハウステンボス

バラといえば  
ハウステンボス

花といえば  
ハウステンボス

フラワーツーリズム

**東洋一の花と光の感動リゾートへ**

フラワーツーリズムとは…  
花(花火)と華やかな歌劇をメインとした  
ハウステンボスにしかない新しい目的旅行



## ホテル事業

- 新しい生活様式やテレワークの実践の一助として、新たなプランの提供を開始
- 開業計画に一部先送りなど遅れが生じるも、100軒構想へ向けての展開を継続

### コロナ対応 新プラン

#### 「ビジネスパック」～長期滞在向け～

5泊6日から最大15泊16日、1名様1室利用の「ビジネスパック」を、日本全国12棟の変なホテルにて提供。館内・全客室にWi-Fiを無料完備しており、個人の専用オフィスとして客室を利用可能。

#### 「ロボホンルーム」～小さなお子様をお持ちの方向け～

関東・関西圏の3棟のホテルにて、親御さんがテレワークをする間、お子様にコミュニケーションロボット「ロボホン」で遊んでいただくことで、ご家族でホテルを有効活用いただけるプランを提供。

### 国内ホテルの状況と見通し

#### 足元の状況

ビジネス需要は戻りつつあり、東京都内のホテルは5月と比較し予約・実宿泊室数共に増加傾向。一方レジャー需要は依然として弱含み。

#### 見通し

GOTOキャンペーンの効果でレジャー需要への訴求は高いと想定も、単価の下落も予想されることから本格的に戻るのには来春を想定。

## ホテル事業

ホテル名	所在	開業 / 継承	客室数
変なホテル関西空港	大阪府 泉佐野市	2019/11/1	97
変なホテル金沢 香林坊	石川県 金沢市	2019/12/24	131
ウォーターマークホテル京都	京都府 京都市	2020/10	122
変なホテル奈良	奈良県 奈良市	2020/10	104
小松	石川県 小松市	2020秋	100 (仮)
カッパドキア (仮)	トルコ	2020冬	288
変なホテルニューヨーク (仮)	アメリカ ニューヨーク	2021春	92
ソウル	韓国	2021夏	100 (仮)
伊勢	三重県 多気町	2021秋	200 (仮)
タシケント	ウズベキスタン	2021秋	未定
仙台	宮城県 仙台市	2021秋	150 (仮)
パムツカレ	トルコ	2023秋	300 (仮)

■ 開業済み

その他 開業検討中エリア

4カ国36ホテル ※2020/6/24 時点

国内

北海道 東北 中部 中国四国  
九州 沖縄

海外

オセアニア 東南アジア  
中央アジア

## 九州産交グループ

- 大型商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto -サクラマチクマモト-」を中核に熊本市中心市街地の活性化を目指す
- バス事業は、減便等の対応を実施しつつ感染拡大予防のための対策を徹底。外出が必要な方のために運行を継続



## エネルギー事業

- 電力小売事業は、マーケティングを一層強化し更なる顧客獲得を目指す
- 発電事業は、発電所の建設に遅れが生じているものの、年内の稼働に向け準備中



ライフスタイルやアンペアごとに3種の割引!  
基本料金・従量料金の単価からそれぞれ割引のウルトラシリーズ登場!



契約電力量も順調に拡大



「HIS角田バイオマスパーク」 2020/4/12 現在



## 免責事項

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。

本資料には、当社の将来の営業活動、業績の見通し等の将来予測に関する記述が含まれています。かかる将来予測に関する記述は作成段階において入手可能な情報を基に当社経営陣が判断したものであり、様々なリスク要因や不確実性を持ちます。実際の営業成績や財務状態は、これらの将来予測において示唆されたものとは、著しく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述を過度に信頼することのないようご留意下さい。また、当社は新しい情報、将来の事象又は新たな知見に応じて将来予測を変更する責任を負うものではありません。



本資料に関するお問い合わせは、弊社IR室までご連絡ください。